

就職活動でのパンプスの快適性

Comfort of pumps in women's job hunting

深澤里美

指導教員 谷上欣也

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 プロダクトデザイン研究室

キーワード：女性, 就活, ヒール, パンプス, #KuToo

1. はじめに

SNSを利用していた際に#KuTooという言葉を見かけた。この言葉は「靴・苦痛・MeToo」を合わせてさまざまな職場で女性がヒール付きのパンプス（以下:パンプス）を履くことがマナーとして定着していることに異議を唱える活動の名称である。当時、私は就職活動をしており、説明会や面接に行く際は必ずパンプスを履いていた。これを履くことでの足の痛みを感じ、なぜ女性は就職活動や職場において決められた履物を履かなければならないのかと考え、調査を始めた。

2. 研究目的

本研究では、女性が就職活動及び仕事中に履くパンプスについて、心身にどのような影響を与えているか調査する。また、その中で発見したパンプスに関する問題を解決し、快適に就職活動や仕事ができるようなサポート器具の提案をおこなう。

3. 調査内容

以下の三つの観点から女性の就活における履物の現状について調べ、パンプスの現状の問題点を洗い出した。

1. 就活に関わる様々な立場の人の意見。
2. パンプスの問題点。

3-1. 就職活動に関わる様々な立場の人の意見

#KuTooのような言葉が生まれてはいるが、リ

クルート用のパンプスといわれる革製の黒いパンプスを履き、就職活動をしている就活生が大半である。そこで、就活生、スーツ販売店の店員、人事担当者、それぞれに就職活動中の女性の履物についてどのように考えているか意見を聞いた。就活生からは、「周りに揃えないといけない」、「服装により選考に影響があるかもしれない」といった後ろ向きな意見が多かった。しかし、「パンプスを履くことで、自分の気持ちを切り替えることができる」、「自信がでる」といった前向きな意見もあった。紳士服大手のAOKIが販売している就活用パンプスには3cmと5.5cmの2種類があり、顧客の身長に合わせてのより美しく見える方を勧めている。会社にもよるが「パンプスを履いていないことは選考に影響しない」という人事担当者の声もある。

3-2. パンプスの問題点

ヒールが及ぼす足への負担は、ヒール高さによって変化する。ヒール部分が高いほど、バランスが悪く、歩行の観点での実用性が著しく劣る。5.5cmのものは、スニーカーに比べ筋活動量が多いことから、長時間履くとスニーカーより疲れやすい。3cmのものは、重心の前方移動距離、筋活動量のいずれもスニーカーと大きな差がなく、歩くことにおいて最も推奨できるヒールの高さである。

3つの観点から調査した結果、パンプスは就職

活動や仕事中に女性が履くことが定着しており、足に負担はあるものの、身だしなみを整え、気持ちの切り替えができる、といった効果を心身に与えることが判明した。しかし、履物とは本来、歩いたり仕事をしたりする際の足の保護や整容のために用いるものである。そこで、重要だと思われるのは、パンプスをいかに足への負担なく、快適に履くことができるかである。実際に足にどのような負担が発生するのか調べるために、パンプスを履いて足の痛みを確認する実験を行った。

4. 実験結果

実験の結果、ヒール部分が3cm, 5.5cmどちらのパンプスも、履き慣れていない人ならば足を痛めることが判明した。実験後の聞き込みでは、「踵が擦れて痛みを感じる」という回答が多かった。

5. 分析と考察

なぜパンプスを履いて歩くと踵に痛みを感じるのか、どこに問題があるのかという点を実験結果から考察した。歩いている姿を観察すると、踵がパンプスから大きく浮いてしまっていることがわかった。また、これは足の甲が大きく開いており、足首が固定されていないためである。これらが原因で踵に痛みを感じると言える。

就職活動の際にパンプスを購入する女性の中には、活動期間中限定でパンプスを使い、その後の社会人生活では使わない人もいる。たった数回しか履くことのない靴は安価で抑えるべきだと考える。実際、スーツ販売店で調査をした結果、3000円前後のパンプスが最も多く購入されていることが判明した。このことから、一般的な形のパンプス全てに対応できる、汎用性の高い「パンプスを快適に履くための補助具」を提案する。

6. 提案内容

提案を具体的な形とするために幾つかの試作を行った。1案目と2案目は紐靴の形状をイメージしたものである。しかし、これらは結ぶ必要がある。脱着に手間がかかることが判明したため、3

案目以降は形状をシンプルな帯状にした。そして、固定と脱着が簡単に行える仕組みと素材を探った。まずはホックによる固定を検討したが、足と接する部分に痛みがあったり、着脱しにくかったりなどの問題があった。そこでマジックテープでの固定を試みたが、ホックでの固定に比べ強度では劣るという問題が発生した。しかし、痛みのなさ、着脱の簡単さにおいては優れていた。

これらの試作から、マジックテープが外れてしまうことを防ぐ仕組みを考え試作に反映した。マジックテープの力の加わることを2重にすることで、丈夫さと安定感が生まれた。また帯全体を伸縮性のある素材にし、全体をマジックテープの接着範囲としたことでサイズ調節が可能となった。



図1. 4つの試作を踏まえて完成した模型

今後は、使用実験と本体をしまうケースの提案を進めていきたいと考えている。また、防水性のある素材での製作も試し、雨の中でも不快感なく使用できるものを作りたいと考えている。

7. 参考文献

[1] 婦人靴のヒールの高さの違いがバランスと歩行に及ぼす影響

https://www.jstage.jst.go.jp/article/cjpt/2012/0/2012_48100108/_pdf/-char/ja

(5/10 11:57 時点)

[2] NHK ニュース#KuToo って知ってますか？

<https://www.nhk.or.jp/seikatsublog/400/372466.html>

(10/10 11:57 時点)